

MD050_SPF_COI_010 HHT情報連携	説明: 気づき情報をHHTに連携します	作成日	2008/06/10	作成者	SCS 西川	更新日	2015/05/26	更新者	SCSK 小山	Ver.	Issue3.2
---------------------------	---------------------	-----	------------	-----	-----------	-----	------------	-----	------------	------	----------

処理概要

HHTへ連携する為、EBSの以下のオブジェクトをCSVファイルに出力する。
① 気づき情報

システム利用者

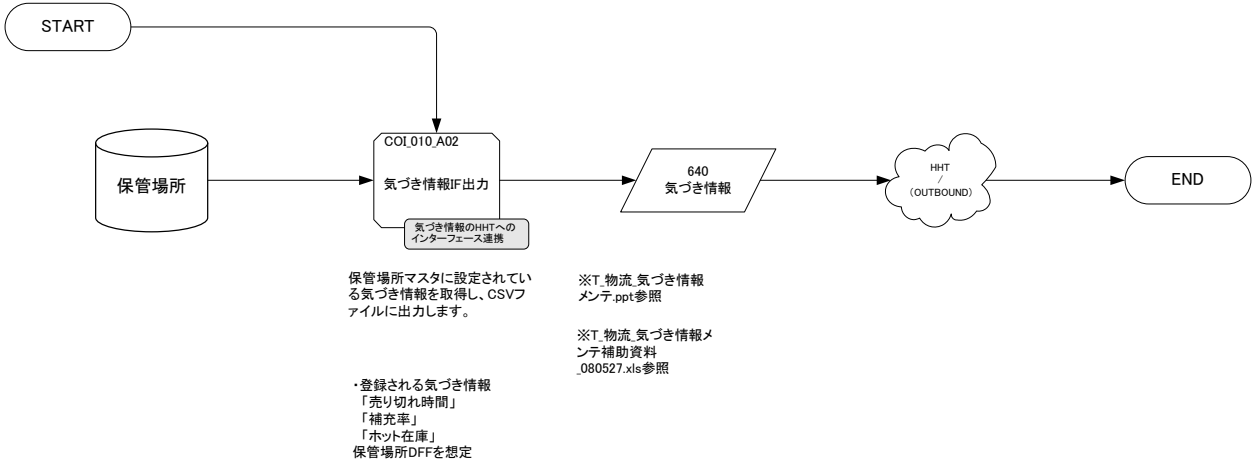
システム連携のみ

処理タイミング、その他

運用時間終了後に1回／日実行する。

システムプロセス 記入時の注意事項

- ・機能単位 (標準機能含む) で記入すること
- ・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- ・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- ・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- ・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- ・フローが複数シートになる場合、(→① / ①→) のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- ・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:



MD050_SPF_COI_010 HHT情報連携	説明: VDコラムマスタ情報をHHTに連携します	作成日	2008/06/10	作成者	SCS 西川	更新日	2015/05/26	更新者	SCSK 小山	Ver.	Issue3.2
---------------------------	--------------------------	-----	------------	-----	-----------	-----	------------	-----	------------	------	----------

処理概要

HHTへ連携する為、EBSの以下のオブジェクトをCSVファイルに出力する。

①VDコラムマスタ情報

システム利用者

システム連携および拠点 内務担当者

(コンカレントの随時実行は可能だが、HHTまで全て連携可能かは未定)

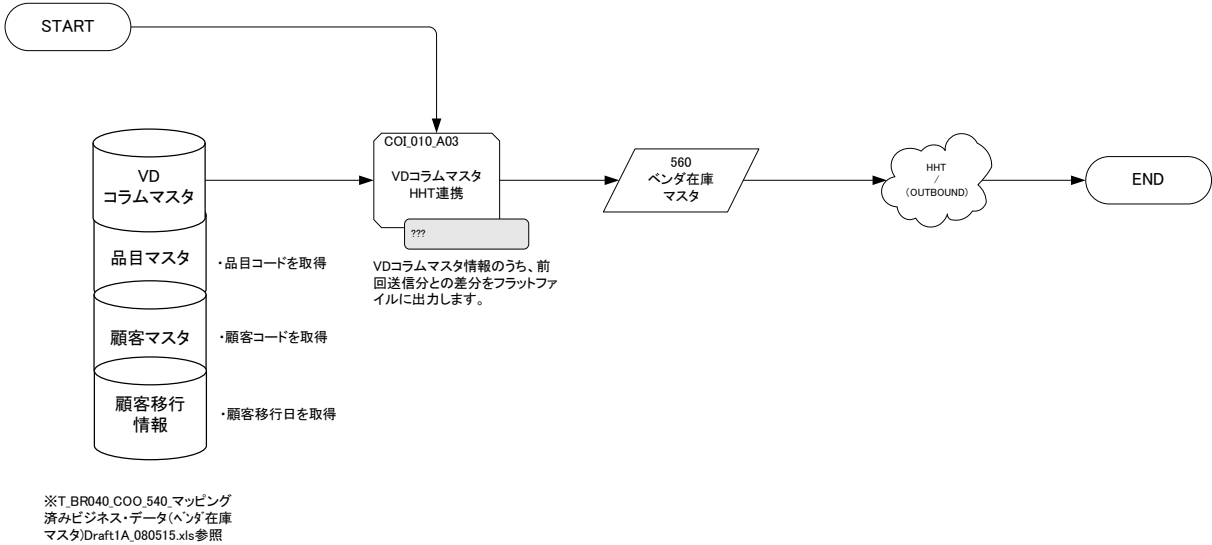
処理タイミング、その他

運用時間終了後に1回／日実行および手動により随時実行する。

前回送信からの差分を出力する。

システムプロセスフロー 記入時の注意事項

- 機能単位 (標準機能含む) で記入すること
- INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- 左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- 1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- フローが複数シートになる場合、(→① / ①→) のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- 1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:



MD050_SPF_COI010 HHT情報連携	説明: 拠点品目情報をHHTに連携します	作成日	2011/04/25	作成者	SCS 関根	更新日	2015/05/26	更新者	SCSK 小山	Ver.	Issue3.2
--------------------------	----------------------	-----	------------	-----	-----------	-----	------------	-----	------------	------	----------

処理概要

HHTへ連携する為、EBSの以下のオブジェクトをCSVファイルに出力する。
①拠点品目情報

システム利用者

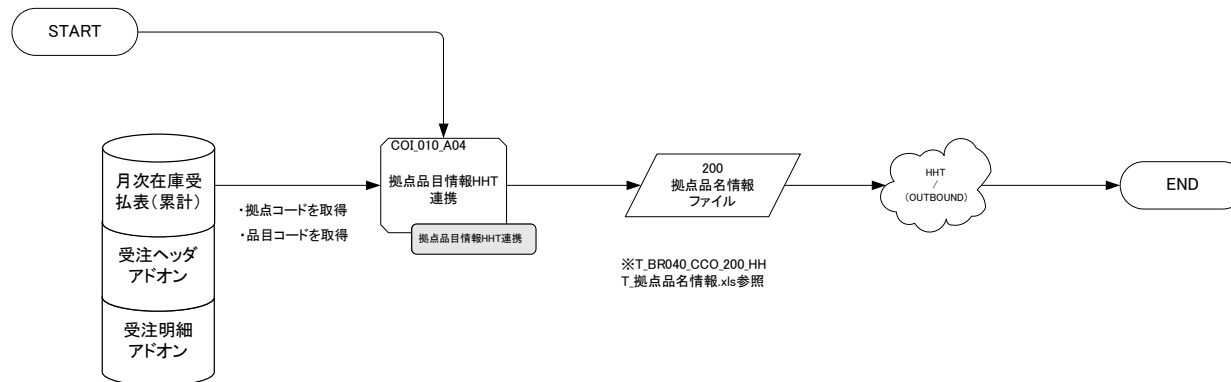
システム連携およびシステム運用者

処理タイミング、その他

運用時間終了後に1回/日実行、および手動により随時実行する。

システムプロセスフロー 記入時の注意事項

- 機能単位(標準機能含む)で記入すること
- INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- 左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- 1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- 1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:



MD050_SPF_COI_010 HHT情報連携	説明: 他拠点営業車入出庫セキュリティマスタをHHTに連携します	作成日	2015/04/23	作成者	SCSK 小山	更新日	2015/05/26	更新者	SCSK 小山	Ver.	Issue3.2
---------------------------	----------------------------------	-----	------------	-----	------------	-----	------------	-----	------------	------	----------

処理概要

HHTへ連携する為、EBSの以下のオブジェクトをCSVファイルに出力する。
①他拠点営業車入出庫セキュリティマスタ

システム利用者

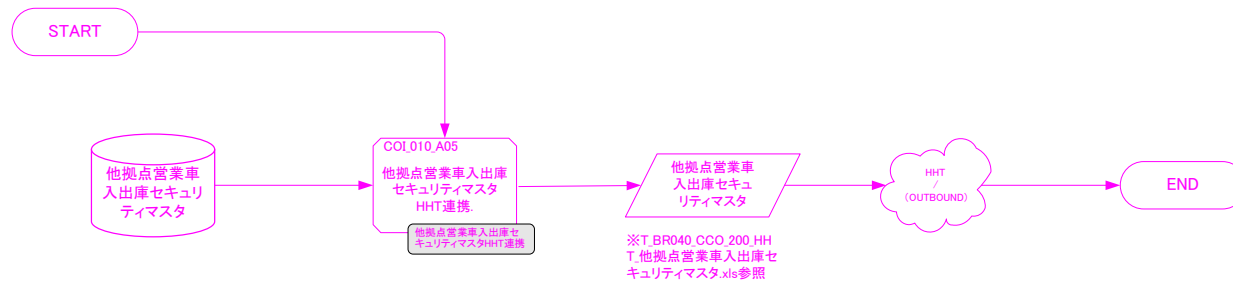
システム連携およびシステム運用者

処理タイミング、その他

運用時間終了後に1回/日実行する。

システムプロセス 記入時の注意事項

- ・機能単位(標準機能含む)で記入すること
- ・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- ・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- ・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- ・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- ・フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- ・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:

